

平成19年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成19年度リンゴ・落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年1月21日(月)～22日(火)にオークラフロンティアホテルつくばにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者64名、委託関係者30名ほか、計106名の参集を得て、除草剤5薬剤(101点)、生

育調節剤8薬剤(36点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

落葉果樹の判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成19年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容 注) ア・イは新たに判定された内容
1. AH-01液 グリホシネートPナトリウム塩 11.5% [明治製菓、北興化学工業]	りんご	適用性 継続	愛知農総試園研 (次郎等) 奈良果樹振興 (刀根早生) 島根農技(西条) (3)	[一年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300, 500mL<100> 300mL<150> ・茎葉処理 ・展着剤不要 ・ハース液 300mL<100>	実・継	実) [力キ: 雑草全般] ・一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 300～500mL<100～150L>/10a 茎葉処理 ・多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 500～1000mL<100～150L>/10a 茎葉処理
	りんご	適用性 継続	宮城園研(蜂屋) 愛知農総試園研 (次郎) 島根農技(多数) (3)	[多年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対) ハース液 500mL<100>		
	りんご	薬害 継続	宮城園研(蜂屋) 岐阜農技(富有) (2)	[薬害試験] ・春期→初夏→夏期 (3回処理) 2000mL→2000mL →2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 ・展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注)ア・グ・ラインは新たに判定された内容
AH-01液 [委託者]	刈	適用性 新規	千葉大環境健康 (筑波) 新潟農総研園研 (筑波) 兵庫農技(銀寄) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300, 500mL<100> 300mL<150> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 ・ バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	刈	適用性 新規	千葉大環境健康 (筑波) 新潟農総研園研 (筑波) 兵庫農技(銀寄) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 500mL<100>		
	刈	葉害 新規	兵庫農技(筑波) 山口農試(筑波) (2)	[葉害試験] ・ 春期→初夏→夏期 (3回処理) 2000mL→2000mL →2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
2. AK-01液 グリホサートイソP オピ ルアミン 塩 41% [TAC普及会]	刈	適用性 継続	福島植防(あかつ き、まどか) 愛知農総試園研 (白鳳) 香川農試府中 (浅間白桃) 熊本農研球磨 (あかつき) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100> 500mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし液 250mL<50>	実	実) [モモ：雑草全般(スギナを除 く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 250～500mL<50～100L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 500～1000mL<50～100L>/10a 茎葉処理
	刈	適用性 継続	福島植防(あかつ き、まどか) 愛知農総試園研 (白鳳) 香川農試府中 (浅間白桃) 熊本農研球磨 (あかつき) (4)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<50, 100> 1000mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし液 500mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグロ-インは新たに判定された内容
AK-01液	ET	薬害 継続	千葉大園芸 (あかつき) 長野県試 (川中島白桃) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		
3. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ブドウ	適用性 継続 (H18翌 春)	秋田県試天王 (スファ-ン) 富山農林果試 (巨峰) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 2000mL<50>	実	実) [ブドウ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春~夏期 スギナ生育期 (草丈 20~25cm) 1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	ナシ	適用性 継続	三重農研 (幸水) <翌春> 熊本農研果樹 (新高)<翌春> (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 2000mL<50>	実・ 継	実) [ナシ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	ナシ	適用性 新規 (H18翌 春)	秋田県試天王 (幸水) 埼玉農総園研 (幸水) 鳥取園試 (かおり) (3)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 2000mL<50>		継) ・ スギナに対する翌春効果の年次変動の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注)フタラインは新たに判定された内容
NC-622液	刈	適用性 新規 (H18翌 春)	兵庫農技 (ぼろたん他) (1)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 2000mL<50>	継	継) 効果、葉害の確認
	刈	葉害 継続	新潟農総研園研 (筑波、紫峰) 兵庫農技 (銀寄) (2)	[葉害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	刈	適用性 継続	鳥取園試 (白秋) <翌春> 熊本農研果樹 (白鳳等)<翌春> (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 2000mL<50>	実 ・ 継	実) [モモ:雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 継) ・ スギナに対する翌春効果の年次 変動の確認
	刈	適用性 継続 (H18翌 春)	千葉大園芸 (県立広 島大学) (あかつき) (1)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 2000mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アンダーラインは新たに判定された内容
4. NH-007液 ビラフルフェニエチル 0.16% グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0% [日本農業]	ブドウ	適用性 新規	千葉大環境健康 (巨峰) 茨城園研 (巨峰) 岡山農試 (ペーリー-A) (3)	[雑草全般 (マルバツツクサ, ヤブガラシ, アミ リカサガオ)] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード液 1000mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ブドウ	薬害 新規	青森県試県南 (キャンベル・アーリー) 長崎果試 (巨峰, ハニーブラック) (2)	[薬害試験] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 新規	千葉大環境健康 (幸水) 宮城園研 (豊月等) 茨城園研 (幸水) (3)	[雑草全般 (マルバツツクサ, ヤブガラシ, アミ リカサガオ)] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード液 1000mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ナシ	薬害 新規	栃木農試 (幸水) 長崎果試 (豊水) (2)	[薬害試験] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 新規	千葉大環境健康 (富有) 新潟農総研園研 (平核無) 岐阜農技 (富有) (3)	[雑草全般 (マルバツツクサ, ヤブガラシ, アミ リカサガオ)] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード液 1000mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アダプティは新たに判定された内容
NH-007液	牡丹	薬害 新規	岐阜農技(富有) 奈良果樹振興 (富有) (2)	[薬害試験] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	桃	適用性 新規	千葉大園芸 (あかつき) 秋田果試 (川中島白桃等) 山形農研農生技 (あかつき) (3)	[雑草全般 (マルバツユクサ, ヤブガラシ, アマ リカガオ)] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ランドアップハイロード 液 1000mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	桃	薬害 新規	秋田果試 (美春白桃) 広島農技 (千曲) (2)	[薬害試験] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
5. SCH-003液 グリホサートイソプロピルアミン 塩 41% [ヒューズ・アメリカ]	ブドウ	適用性 新規	千葉大園芸 (巨峰) 富山農技果試 (ヒメオネ) 愛知農総試園研 (巨峰等) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100>, 500mL<50> ・ 茎葉処理 対) クサリソ 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	ブドウ	適用性 新規	千葉大園芸 (巨峰) 富山農技果試 (ヒメオネ) 島根農技 (フナエ) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<50, 100>, 1000mL<50> ・ 茎葉処理 対) クサリソ 500mL<50>		
	ブドウ	薬害 新規	愛知農総試園研 (巨峰) 島根農技 (フナエ) (2)	[薬害試験] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<50> 樹幹処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグダーインは新たに判定された内容
6. SYJ-171液 ハコト12.4% [シンジエンタジヤパン]	ナシ	薬害 継続	秋田県試天王 (幸水) (1)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏→初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期 (1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要	実 ・ 継	実) [ナシ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL <100～150L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草, スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1000～2000mL <100～150L>/10a 茎葉処理 (継) ・ スギナに対する効果について、年 次変動の確認
7. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンジエンタジヤパン]	ブドウ	適用性 継続	秋田県試天王 (刈込等) 山梨県試 (巨峰群) 長崎県試 (巨峰) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タチタウニQ液 250mL<50>	実 ・ 継	実) [ブドウ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 スギナ生育期 (草丈 20～30cm) 1500～2000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) (継) ・ スギナに対する水量100Lでの効果 の確認
	ブドウ	適用性 継続	秋田県試天王 (スノレ ット、サマブラク等) 石川農総研 (シャドネ) 春 山梨県試 (巨峰群) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・ 500, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タチタウニQ液 500mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草：ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アシゲ-ラインは新たに判定された内容
ZK-122液	ナシ	適用性 継続	石川農総研 (幸水) 鳥取園試 (新興、瑞秋) 大分果樹研落葉 (豊水、二十世紀) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウン iQ 液 250mL<50>	実・ 維	実) [ナシ：雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 スギナ生育期 (草丈 20～30cm) 1500～2000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 継続) ・ スギナに対する効果について、年 次変動の確認 (水量25～50L) ・ スギナに対する水量100Lでの効果 の確認
	ナシ	適用性 継続	青森り試県南 (幸水等) 宮城園研 (豊月等) 鳥取園試 (新興、瑞秋) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウン iQ 液 500mL<50>		実 (実) [カキ：雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	ナシ	適用性 継続	秋田果試天王 (幸水)<翌春> 三重農研 (幸水)<翌春> (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイド-ド 液 2000mL<50>		
	ナシ	適用性 新規 (H18翌春)	千葉大園芸 (県立広島大学) (幸水) 鳥取園試 (かおり) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイド-ド 液 2000mL<50>		
	ナシ	適用性 継続	長野南信農試 (市田柿) 愛知農総試園研 (次郎等) 愛媛果試 (愛宕) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウン iQ 液 250mL<50>	実	
	ナシ	適用性 継続	宮城園研 (蜂屋) 長野南信農試 (市田柿) 愛媛果試 (愛宕) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウン iQ 液 500mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグ・ラインは新たに判定された内容
ZK-122液	㊦	適用性 継続	山形農研農生技 (あかつき) 山梨果試 (白鳳)<夏> 広島農技 (清水, 天女) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチアップIQ液 250mL<50>	実・ 継	実) [モモ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 スギナ生育期 (草丈 20～30cm) 1500～2000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 継) ・ スギナに対する効果について、年 次変動の確認 (水量25～50L) ・ スギナに対する水量100Lでの効果 の確認
	㊦	適用性 継続	山形農研農生技 (あかつき) 愛知農総試園研 (白鳳) 広島農技 (川中島, なつき) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチアップIQ液 500mL<50>		
	㊦	適用性 継続	岡山農試 (白桃系)<翌春> 熊本農研果樹 (なつおとめ等) <翌春> (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ランドアップハイロード液 2000mL<50>		
	㊦	適用性 新規 (H18翌 春)	千葉大園芸 (県立広 島大学) (あかつき) 山形農研農生技 (あかつき) 熊本農研果樹 (川中島) (3)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ランドアップハイロード液 2000mL<50>		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグ・ラインは新たに判定された内容
1. AF-2Lくん蒸成型 1-メチルシクロプロパン 6.7 μg/cm ² [アグ ロフレッシュ インク]	ナシ	適用性 新規	果樹研 (幸水) 茨城園研 (豊水) 埼玉農総園研 (幸水) 鳥取園試 (おさじーロード) (4) 栃木農試 (自主) (幸水)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (3. 6枚/117L容器) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷 用箱に入れる→収穫用コンテナ または出荷用箱ごと、117L容処理 容器に入れ、所定量の製剤を置 く→直ちに密閉し12時間以上 静置 (暴露処理) →開封する→ 収穫用コンテナまたは出荷箱に入 れたまま室温で保存	継	継) ・ 効果、葉害の確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグリーは新たに判定された内容
AF-2Lくん蒸成型 [委託者]	柿	適用性 新規	果樹研アドウ・柿 (太月) 山形庄内産地研 (平核無) 長野南信農試 (市田柿) 鳥取園試河原 (西条) (4) 島根農技(自主) (西条)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (3.6枚/117L容器) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷 用箱に入れる→収穫用コンテナ または出荷用箱ごと、117L容処理 容器に入れ、所定量の製剤を置 く→直ちに密閉し12時間以上 静置 (暴露処理) →開封する→ 収穫用コンテナまたは出荷箱に入 れたまま室温で保存	継	継) ・ 効果、被害の確認
AF-2くん蒸成型 1-メチルピロリドン 12 μg/cm ² [アグロフレッシュ インク]	柿	適用性 新規 (H17)	福岡農総試(富有) (1)	[日持ち性 (貯蔵性) 向上] ・ 収穫当日 ・ 1mm/柿1個 (1000ppb) ・ 果実を個装袋に入れ、暴露	一	(AF-2Lに切り替えた為)
AF-2Lくん蒸成型 1-メチルピロリドン 6.7 μg/cm ² [アグロフレッシュ インク]	キウイフル ツ	適用性 新規	<香川農試府中> <愛媛果試> (2)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理 (室温) →冷蔵保存 625ppb (0.5枚/20kgコンテナ) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実15~20kgをキウイ用ポリ フィルム袋、20kgコンテナに入れる→所 定量の製剤を置く→袋上部を 折りたたんだ後直ちに密閉し 12時間以上静置 (暴露処理) → 冷蔵庫に搬入	保 留	(試験中)
AF-2くん蒸成型 1-メチルピロリドン 12 μg/cm ² [アグロフレッシュ インク]	キウイフル ツ	適用性 継続 (H18)	静岡柑試落葉 (レインボーレド) 香川農試府中 (さぬきゴールド) 愛媛果試(ハイワード) (3)	[日持ち性向上] ・ 収穫2~3日後 ・ 0.5, 1cm/箱容積10L (500, 1000ppb) 密閉容器内処理→冷蔵保存 ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実をキウイ用ポリ袋入りの箱 に入れる→所定量の製剤を箱に 入れる (収穫2日後) →ポリ袋の口 を折りたたみ、箱ごと密閉容器に 入れる→12~24時間静置 (暴露処 理) →箱を取り出し冷蔵保存	一	(AF-2Lに切り替えた為)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アナライは新たに判定された内容
2. AKD-8152水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 4.4% [アグロネショ]	西洋ナシ	適用性 新規	山形農研農生技 (フ・フランス・バス・クラサ) 新潟農総研園研 (ル・レクテ) (2)	[収穫前落果防止] (1回処理) ・ 収穫開始予定21~7日前 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 (反復処理; 2回) ・ 1回目: 収穫開始予定21~14日 前→2回目: 1回目処理7~10日 後 ・ 2000倍→2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	継	継) 効果、葉害の確認
3. CX-10液 シナミド 10% [日本カーバイド工業]	ナシ	適用性 継続 (H18)	富山農技果試 (幸水) 茨城園研 (幸水) (2)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12~1月) ・ 10, 20倍 ・ 散布	実・ 継	実) [ナシ: 休眠打破による発芽 促進及び発芽率の向上] ・ 自発休眠後期 ・ 5~10 倍<150~200L/10a> 散布 ・ 7~15倍 塗布 ・ 効果が確認された品種; 幸水、豊水、ゴールド20世紀 継) ・ 20倍散布処理での効果、葉害の 確認
	桃	適用性 継続	<愛知農総試園研> <岡山農試> <香川農試府中> (3)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (11~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布	継	継) 効果、葉害の確認
		適用性 継続 (H18)	山梨果試 (白鳳) 愛知農総試園研 (白鳳) 岡山農試 (白鳳) 香川農試府中 (日川白鳳) (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (11~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布		
4. KUH-833P ベースト + ジベレリン ベースト プロベキシオンカルシウム塩 1% + ジベレリン 2.7% [クミヤ化学工業]	日本ナシ	適用性 新規	茨城園研 (幸水、あきづき) 長野南信農試 (二十世紀) (2) 果樹研究所 (自主) (幸水、豊水) 鳥取大学 (自主) (ゴールド21世紀) 鳥取園試 (自主) (H17豊水), (H18豊 水, ゴールド21世紀) (H19豊水) 佐賀果樹試 (自主) (あきづき)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KPP (本剤) + ジベレリン ベースト; 20-30mg+20-30mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジベレリン ベースト; 20-30mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジベレリンベ ーストとよく混合し使用する	継	継) 効果、葉害の確認
5. KT-30液 ホウロウフェニロン 0.10% [協和発酵工業]	ブドウ (高尾)	適用性 継続	山形農研農生技 (高尾) 福島果試 (高尾) (2)	[果実肥大促進] ・ 満開時~満開7日後 ①GA (ジベレリン) 50ppm ②GA+KT (本剤): 50+5ppm ③GA+KT: 50+10ppm ・ 花房または果房浸漬	実	実) [ブドウ (高尾): 果実肥大促進] ・ 満開時~満開7日後 ・ 5~10ppm ・ 浸漬 (ジベレリンに加用)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 〔対象雑草; ねらい〕 ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグラインは新たに判定された内容
KT-30液	ブルーベリー	作用性 新規	青森県試県南 (ノースランド) 秋田県試 (アールブルー) 山口県試 (シャブブルー) (3)	〔果実肥大促進及び日持ち性向上〕 ・ 落弁期→落弁期7日後 (2回処理) ①5ppm→5ppm ②10ppm→10ppm ③20ppm→20ppm ・ 果そう散布 (枝別処理)	—	(作用性のため判定なし)
6. ジベレリン水溶液 ジベレリン 3.1% 〔日本ジベレリン研究会〕	ブドウ (サニールジュ)	適用性 継続	島根農技 (サニールジュ) (1)	〔無種子化、果粒肥大促進、着粒密度低減〕 ・ ①満開20日前→満開10～15日後 25ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬 ②満開14日前→満開10～15日後 25ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬 ③展葉3～5枚時→満開時→満開3日後→満開10～15日後 5ppm→25ppm→25ppm 花房散布→花房浸漬→果房浸漬 ④展葉3～5枚時→満開時→満開3日後 5ppm→25ppm+KT-30 (ホクロルフェニル) 10ppm 花房散布→花房浸漬 コントロール区) 展葉時→満開3日後→満開10～15日後 25ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬	継	継) 効果、薬害の確認
7. AF-1くん蒸 1-メチルシクロプロペン 3.3% 〔アグロフレッシュ インク〕	柿 (富有)	適用性 継続 (組17)	福岡農総試 (富有) (1)	〔日持ち性 (貯蔵性) 向上〕 ・ 収穫当日 ・ 1000ppb ・ 果実を密閉容器に入れ、12～24時間暴露	実・継	実) [カキ: 収穫果実の日持ち性向上] ・ 収穫直後～2日後 ・ 500～1000ppb ・ 水に入れて発生する気体に12～24時間密閉条件で暴露 継) ・ 品種と効果の確認
	アズキ	適用性 自主	埼玉園研 (筑波12号)	〔日持ち性 (貯蔵性) 向上〕 ・ 収穫当日 ・ 1000ppb ・ 果実を密閉容器に入れ、12～24時間暴露	継	継) 効果、薬害の確認
8. ジベレリンペースト ジベレリン 2.7% 〔協和発酵工業〕	日本ナシ	適用性 自主	栃木農試 (幸水、豊水、あきづき、きらり、にっこり)	〔新梢伸長促進〕 ①幸水での処理時期の検討 ・ 満開後10, 20, 40日 100mg/枝 短果枝基部に塗布 ②品種別の効果検討 (幸水、豊水、あきづき、きらり、にっこり) ・ 満開後10～14日 100mg/枝 短果枝基部に塗布	実	実) [日本ナシ: 新梢伸長促進] ・ 満開7～14日後 ・ 100mg/枝 ・ 全花除去した短果枝の基部に塗布